

平成29年度第2回狭山市国民健康保険運営協議会会議録

開催日時 平成30年2月5日（月）
午後1時30分から午後2時20分まで
開催場所 市役所6階 602会議室
出席者 新井委員、小島委員、吉田委員、廣澤委員、高木委員、佐藤委員、釣委員、吉原委員、齋藤委員、莊司委員、矢田部委員、関根委員、寺山委員、吉田委員
欠席者 河井委員、登坂委員、広村委員、関口委員
事務局 三ツ木長寿健康部長、宮岡長寿健康部次長、関口保険年金課長、戸口主幹、増田主幹、若林主任、岸主事
傍聴者 0名

会長 会議録の署名委員については、1号委員の吉田委員と3号委員の吉原委員にお願いしたいと思います。

議題

- 1 平成29年度狭山市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）（案）について

会長 それでは、平成29年度狭山市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）（案）について、事務局より説明をお願いします。

————— 会議資料に基づき説明を行う。 —————

会長 説明が終わりましたので、ただいまの説明につきましてご質疑、ご意見等がありましたらお願いします。

平成29年度狭山市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）（案）について、事務局より説明を受け、審議の上承認することに決定した。

議 題

2 平成30年度狭山市国民健康保険特別会計予算（案）について

会 長 それでは、平成30年度狭山市国民健康保険特別会計予算（案）について、事務局より説明をお願いします。

————— 会議資料に基づき説明を行う。 —————

会 長 説明が終わりましたので、ただいまの説明につきましてご質疑、ご意見等がありましたらお願いします。

委 員 保険税現年課税分について、マイナスの要因は後期高齢者への移行が多いことによる被保険者数の減少ということなのか。

事務局 いちばん大きな要因としましては、後期高齢者への加入数が多いことで、28年度決算ベースでは約2,000名の減少となっております。その次の要因としましては、28年10月から開始された短時間労働者への健康保険の適用拡大があげられます。したがって30年度予算につきましても、大幅な被保険者数の減少を見込むことにより、現年課税分も減少しているものであります。

委 員 国民健康保険事業費納付金の総額が約42億円、それに対し保険税の総額が約32億円となっているが、この差額については一般会計からの繰入金でまかなうことになるのか。

事務局 不足分につきましては、保険基盤安定繰入金の軽減分約2億4000万円とその他繰入金約5億6000万円で主に対処していくこととなります。

平成30年度狭山市国民健康保険特別会計予算（案）について、事務局より説明を受け、審議の上承認することに決定した。

議 題

3 その他

会 長 それでは、その他について事務局より説明をお願いします。

第3期特定健診実施計画・第2期データヘルス
計画の説明を行う。

会 長 説明が終わりましたので、ただいまの説明の中でご質疑、ご意見等がありましたらお願いします。

委 員 第2期データヘルス計画24ページ「循環器系の疾患の患者数」について、その他の心疾患とは虚血性心疾患以外の心疾患をすべて含んでいるのか。

事務局 そのとおりです。これはレセプトを基に抽出しているものですが、すべての心疾患を細かく分類すると分かりづらくなるため、虚血性心疾患以外の心疾患を一つにまとめてあります。

委員 第2期データヘルス計画25ページ「新生物の医療費の内訳」について、その他の悪性新生物の分類が分かりにくいのではないかと。おそらく前立腺癌がこのうちの半分以上を占めていると思われるので、中分類がこのようになっているとしても、さらに詳しく示したほうが分かりやすいと思います。

事務局 検討してさらに分かりやすく作成いたします。

委員 第2期データヘルス計画40ページ「HbA1c 有所見者の割合」について、5.6%以上となっているが県の資料によると6.5%以上が糖尿病とされている。この違いは。

事務局 確認して次回に回答いたします。

委員 糖尿病重症化予防の動機づけ・積極的支援の取組に対する後期高齢者支援金のペナルティが30年度以降大きくなるが、狭山市ではどれくらいを見積もっているのか。

事務局 後期高齢者支援金の加算ペナルティについては、健康保険組合に対するものなので30年度予算では考慮しておりません。国保としましては、保険者努力支援制度による交付金が予定されておりますので、より積極的な保健指導を実施してまいります。

委員 積極的支援はなかなか難しいと思うが、動機づけ支援については保健センターだけではなく、一般の医療機関でも対応できないか。

事務局 今回の計画を策定するにあたり、保健センターとも協議をして訪問型等の取組の拡充を予定しております。今後はこのような取組の状況等もふまえ見直しを図っていきたいと考えております。

委員 第3期特定健康診査等実施計画27ページ「年齢階層別特定健康診査受診率」について、40歳代の受診率が低いと、この年代

について受診率向上のための施策は考えているのか。

事務局 現在も行なっておりますが、3年連続未受診者・40歳到達者への電話勧奨を今後も継続してまいります。また新たに、前年度新規受診者や歯抜け受診者へのハガキ勧奨を実施することにより、受診歴のある方を逃さないような取組を考えております。

会長 以上で議事を終了いたします。ご協力ありがとうございました。